

安城市 企業立地ガイド

ANJO INDUSTRIAL
LOCATION GUIDE

安城市

農・工・商バランスのとれた都市

安城市は1952年(昭和27年)5月に県下13番目の市として誕生し、2022年(令和4年)5月で市制施行70周年を迎えました。

明治用水の豊かな水にはぐくまれ「日本デンマーク」と呼ばれるほど農業先進都市として発展してきました。その後、中部経済圏の中心である名古屋市から約30km、自動車産業が集積する西三河の中心に位置するという地理的条件にも恵まれ、自動車関連企業をはじめとする大企業の進出や住宅団地の建設が盛んになり、急速に都市化が進みました。

また、市内には大型ショッピングモールなどの商業施設も充実し、市制施行当時37,704人であった人口は今では、19万人ほどに成長し、農・工・商バランスのとれた都市となっています。

現在は「未来への種まき」として、次世代を担う子どもたちの成長を全力で応援する政策を展開しています。



面積	人口	世帯
86km ²	18.7万人	8万世帯

(2026年2月現在)



1880年(明治13年)に明治用水が完成後、近代農業の先進地として知られてきました。

現在も多岐にわたる農畜産物を生産しています。

日本デンマーク

1924年

市施行

1952年

三河安城駅

JR東海道新幹線・東海道本線三河安城駅は、1988年(昭和63年)に西三河地区の玄関として開業されました。これにより、周辺の街並みは大きく変貌し、現在も変化し続けています。



1954年(昭和29年)から開催されており、「願い事、日本一。」を掲げ、毎年盛大に行われる市内最大の観光イベントです。

安城七夕まつり

1954年

1988年

2028年



三河安城交流拠点・アリーナ

Bリーグ(男子プロバスケットボールのトップリーグ)及びSVリーグ(バレーボールのトップリーグ)の新たなホームアリーナとなります。最先端の技術や設備を備えたこのアリーナは、スポーツ観戦にとどまらず、様々なイベント開催や市民利用が可能であり、これまでの概念を超えた仕様と設備で最高のスポーツ・エンターテインメントが体感できます。

※完成予想図(アリーナの外観等は変更になる可能性があります)
©三河安城交流拠点建設募金団体

2024年

第9次安城市総合計画



「安城子どもBOOSTERS」とは、総合計画の重点施策である「子どもを核としたまちづくり」を強く発信し、共有するためのキャッチコピーです。BOOSTERSとは応援する人、押し上げる人という意味です。夢に向かって挑戦する子どもたちをみんなで応援し、応援されて成長した子どもたちが安城市の未来を活力あるまちに押し上げてくれる、そんな想いを込めています。



子育て

- 給食費 小中学校 無料
- 医療費 入院・通院 高校生まで 無料
- 保育施設数 46ヶ所
- 保育料 第2子以降無料
- 待機児童数 0名 (2026年4月現在)
- 児童クラブ(学童保育) 小学校6年生まで
- 子育て支援センター 5ヶ所



おでかけスポット

- 丈山苑 ● 本證寺
- 安城産業文化公園デンパーク ● 三井ショッピングパーク ららぽーと安城
- 堀内公園 ● でんまあと(農産物直売所)



ふわふわドーム(堀内公園)



丈山苑



優れた住環境

自動車関連産業の集積から潤沢な財政収入があり、安定した財政基盤が築かれています。また豊かな財政力を背景に住環境、特に子育て、住宅地・公園の整備に力を入れており、市民から高い満足度をしています。

TOPICS

2025年度に実施した市民アンケートにおいて

92.7%の人が

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答しています。

財政健全度



※全国1,718市町村中

東洋経済新報社「都市データパック」(2025年)

※収支、弾力性、財政力、財政基盤、将来負担の5つの視点から20のデータを用いて算出。

優れた交通アクセス

安城市は、交通アクセスにおいて極めて優れた立地環境を有しています。市内には、国道1号や国道23号が通っており、名古屋市や三河地域、さらに愛知県外へのアクセスも良好です。また、安城市の北端には伊勢湾岸自動車道が通っており、東西南北の主要都市への移動がスムーズに行えます。

また、三河安城駅は新幹線の停車駅であり、東京駅や新大阪駅へは直通でアクセス可能です。さらに、将来的にはリニア中央新幹線により主要都市への移動時間が短縮され、さらなる利便性の向上が期待されています。

これらの交通インフラの充実により、安城市はビジネス活動においても非常に高い利便性を誇る地域となっています。



道路

高速道路と2つの国道

高速道路

市北端を通っている伊勢湾岸自動車道から、日本の大動脈と言われる東名・新東名・名神・新名神高速道路へアクセスすることができます。

車で



国道23号

安城市内に5つのIC

愛知県を横断しており、県内では国道1号と並ぶ主要道路です。蒲郡バイパスが2024年度に全線が開通し、ほぼ信号のない道路により名古屋市から豊橋市までが結ばれています。

安城市内には5つのICが設置されており、名古屋、豊橋方面へのアクセスに広く活用されています。

車で



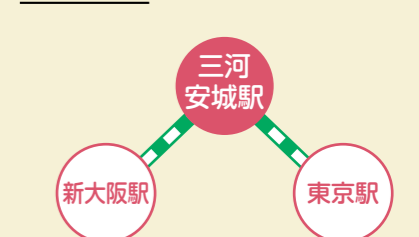
鉄道

新幹線を含む4つの路線

市内に停車駅のある鉄道路線

- JR東海道新幹線
- JR東海道本線
- 名鉄名古屋本線
- 名鉄西尾線

新幹線で

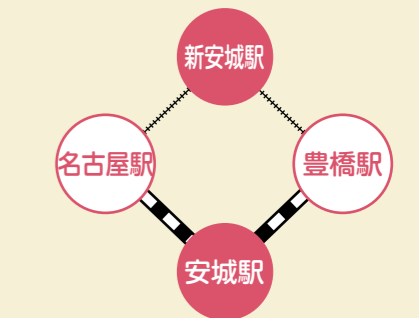


約1時間5分 約1時間50分

※リニア中央新幹線開通後は東京-名古屋間が約40分となり、東京-安城間は約1時間まで短縮されます。

電車で

安城から名古屋・豊橋方面へ
名鉄名古屋本線・JR東海道本線ともに 約30分



陸・海・空 主要地点へ 1時間以内

ものづくり産業の集積地である西三河地域の中央に位置する安城市。高速道路や鉄道の利便性も高く、名古屋市のほか、首都圏・関西圏へのアクセスも抜群！
さらには、空港や港湾へのアクセスも良好で、グローバルなビジネスにも最適な環境です。

空港

2つの空港から 国内・海外拠点へ

- 中部国際空港 (セントレア) — 車で約50分 / 電車で約1時間
- 県営名古屋空港 — 車で約1時間

港湾

国際海上輸送の拠点・名古屋港を はじめ3つの港が利用可能

- 名古屋港 — 車で約40分
- 衣浦港 — 車で約40分
- 三河港 — 車で約1時間

ものづくり産業の集積地

安城市は豊田市、刈谷市などと共に自動車関連産業の拠点を形成している国内有数の工業都市です。

また、自動車関連産業のみならず、食料品関連製造業の工場など、多様な業種の企業が立地しています。

さらに、安城市は市内全体で高低差が少なく、内陸部の碧海台地に位置していることから災害リスクが低く、企業立地に適した地形です。

道路や鉄道の交通アクセスにも優れていることから、市内外を問わず労働力が確保しやすいというメリットがあります。



(2025年6月現在)

立地実績

優れた交通アクセスに裏付けされた企業立地実績



安城市に立地している企業(抜粋)

地図番号	企業名
1	(株)デンソー ※2ヶ所
2	(株)豊田自動織機
3	(株)アイシン ※3ヶ所
4	愛三工業(株)
5	(株)タチエス
6	中央精機(株)
7	(株)デンソーエレクトロニクス
8	(株)デンソーエアシステムズ
9	豊臣機工(株)
10	万能工業(株) ※3ヶ所
11	(株)マキタ
12	ビューテック(株) ※2ヶ所
13	ニチパン(株)
14	(株)ニッセイ
15	アールエム東セロ(株)
16	(株)イノアックコーポレーション ※2ヶ所
17	日本トーカンパッケージ(株)
18	旭化学工業(株)
19	(株)クオリ
20	(株)ニッスイ
21	森永製菓(株)
22	山崎製パン(株)
23	イフジ産業(株)
24	(株)ヤマコ
25	(株)ユーハイム
26	七福醸造(株)

注1 資本金1億円以上の企業から抽出
 注2 輸送機械関連、その他製造業については注1のうち資本金上位の企業を掲載

労働力

豊富で安定した労働力

第9次安城市総合計画では、生産年齢人口は今後も安定的に10~12万人程度で推移する見込みです。多くの自治体において、人口減少及び生産年齢人口の減少が予想される中、安城市では今後も安定した労働力を確保できる見通しです。特に、出会いの場の創出や結婚に伴う新生活の支援、不妊治療助成等にも力を入れるとともに、区画整理等の住環境の整備も実施しており、若い世代の定住促進を図っています。

将来人口の推計

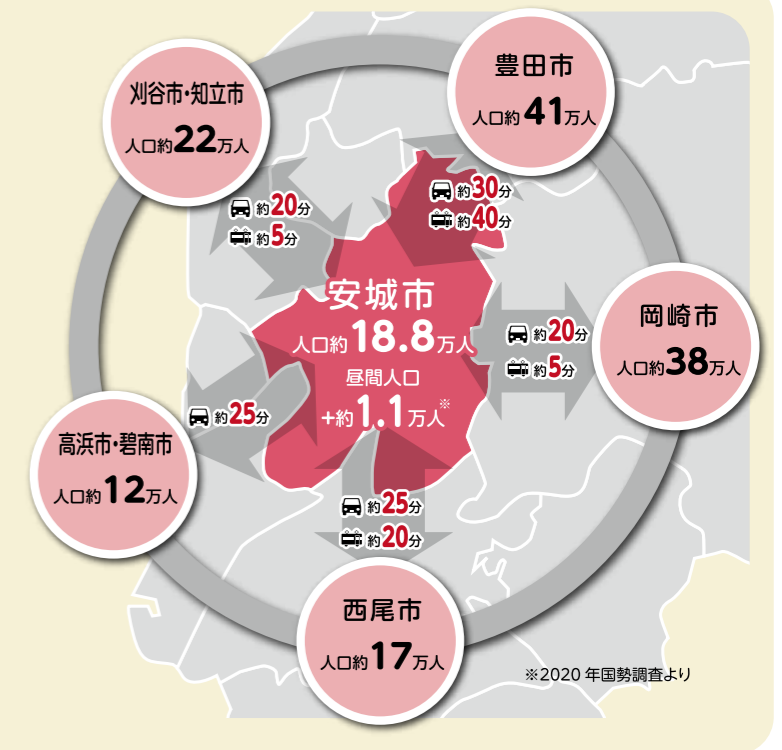


TOPICS

ものづくり西三河の中央に位置

西三河地域全体では約161万人という多くの人口を抱えております。また、安城市はものづくりが盛んな西三河の中央に位置しており、近隣市へのアクセスに優れています。

西三河地域の豊富な人口と安城市の優れた交通アクセスにより近隣市からの労働力も見込めます。



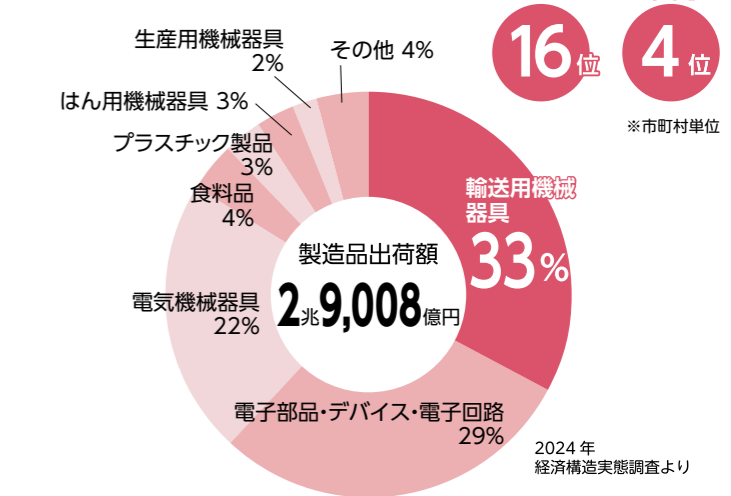
産業

製造品出荷額県内4位 国内有数の工業都市

愛知県は製造品出荷額が都道府県単位で全国1位の58兆218億円であり、ものづくり産業の一大拠点となっております。

そのようなものづくり産業の拠点となっている愛知県の中でも安城市は製造品出荷額が2兆9,008億円と上位に位置しており、自動車関連産業の中核を担う国内有数の工業都市です。

安城市の製造品出荷額の内訳



全国 16位 県内 4位
※市町村単位

2024年 経済構造実態調査より

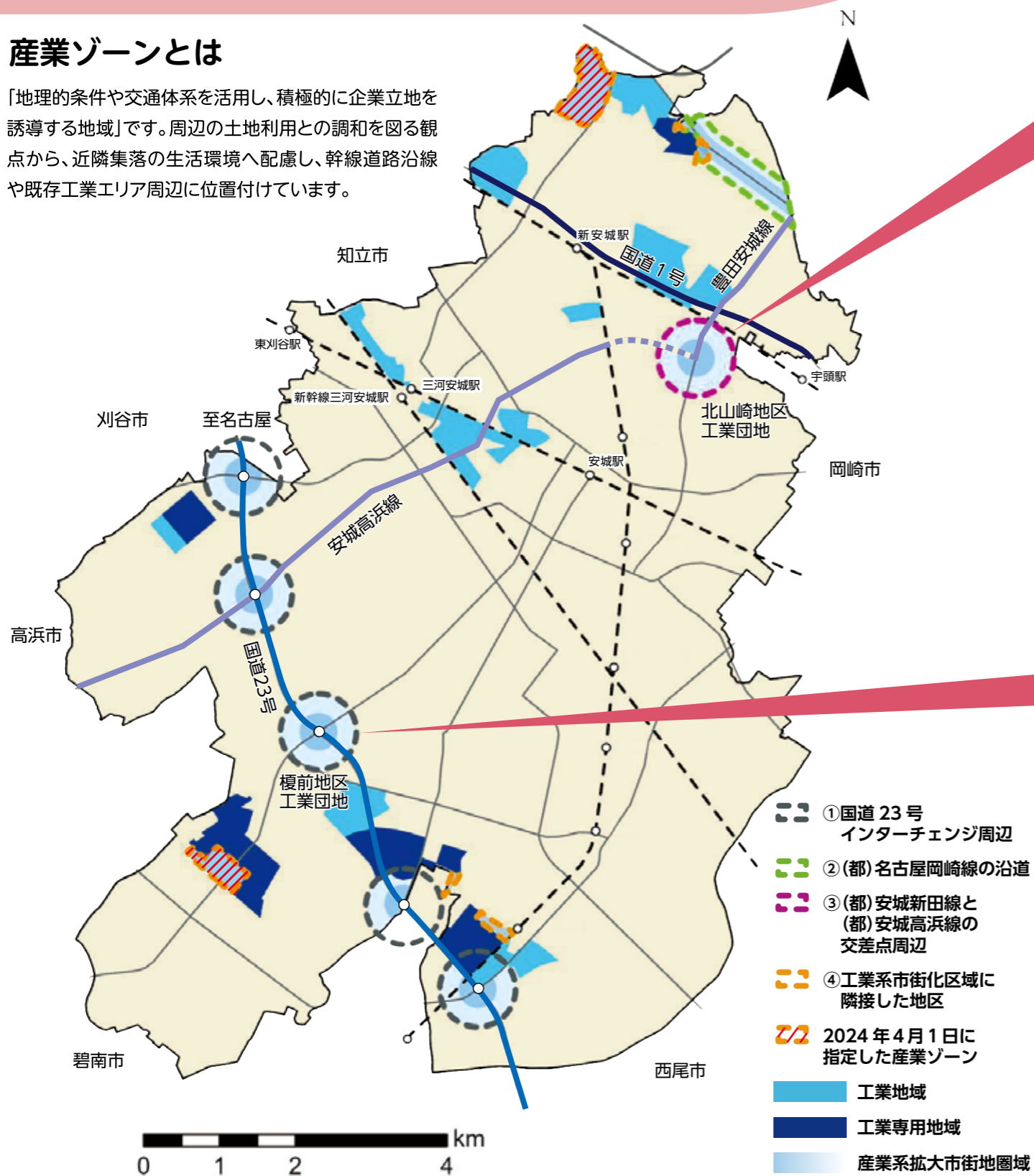
豊富な工業用地

安城市では「既存企業の流出抑制と新たな企業の誘致を進める環境づくり」を基本理念に掲げ、積極的に企業立地を誘導する地域として9か所の産業ゾーンを設定しています。

また、市東部では愛知県企業庁主体による「安城北山崎地区工業団地」の造成を進めています。さらに、「ものづくり産業の集積地」として、特に自動車関連分野において高度な技術力を有する企業群が存在しており、関連産業との連携や人材確保においても有利な環境が形成されています。

産業ゾーンとは

「地理的条件や交通体系を活用し、積極的に企業立地を誘導する地域」です。周辺の土地利用との調和を図る観点から、近隣集落の生活環境へ配慮し、幹線道路沿線や既存工業エリア周辺に位置付けています。



安城北山崎地区工業団地



完成イメージパース

事業の概要

- 所在：安城市北山崎町及び尾崎町地内
- 分譲面積：第1期 約 7.6ha (①②)
第2期 約 3.4ha (③④)
- 業種：製造業
- 引渡時期：第1期 2028年度(予定)
第2期 2030年度(予定)

エントリーや分譲申し込みなど、現在の状況をご確認いただけます。



詳しくはこちらをご覧ください

榎前地区工業団地に立地していただいた企業の声

IPGフォトニクスジャパン株式会社



代表取締役社長
村松 優 様

当社は米マサチューセッツ州に本社を置くIPG Photonics(NASDAQ:IPGP)の日本法人です。米本社工場、ドイツ工場で主に製造されるファイバーレーザー発振器と光学系周辺機器、システムを日本国内のお客様に向けて販売・サポートしております。

ファイバーレーザーは主に金属の溶接、切断、マーキングに使われ、従来の工法やYAG,CO2レーザーに比べ消費電力が小さく、チラー(冷却装置)が小型化できるため省スペース化が可能です。最近では広範囲を面加熱することで加熱炉や焼成炉の置き換えをしたり、医療分野といった新しい用途も広がっています。

日本法人設立20周年でもある令和6年に榎前地区工業団地に中部テクニカルセンター社屋が完成しました。安城市はユーザー企業も近く、新製品の紹介や工法開発のお手伝いをさせていただく機会も増えてビジネスに大いにプラスになっています。



中部テクニカルセンター

株式会社サンワ金型



代表取締役社長
鈴木 大輔 様

当社は精密プレス金型を中心に、設計から試作・量産・メンテナンスまで一貫して担っています。榎前地区には最新鋭の高精度工場を新設し、恒温環境下での超精密加工にも対応。ラジエータなど熱交換器分野で豊富な実績を有しています。若手と熟練が“恩送り”の精神で技術を継承しつつ、顧客とクローズドなラボ環境で取り組みながら、人材や協力先が集まる拠点として進化を続けています。

安城市はものづくり集積地として顧客に近接できる利点に加え、多様な業種への支援や業種間交流も盛んで、幅広いネットワークは地域とともに恩送りを軸とした人材育成と共創による持続的な成長を目指す上で大きな後押しとなっています。

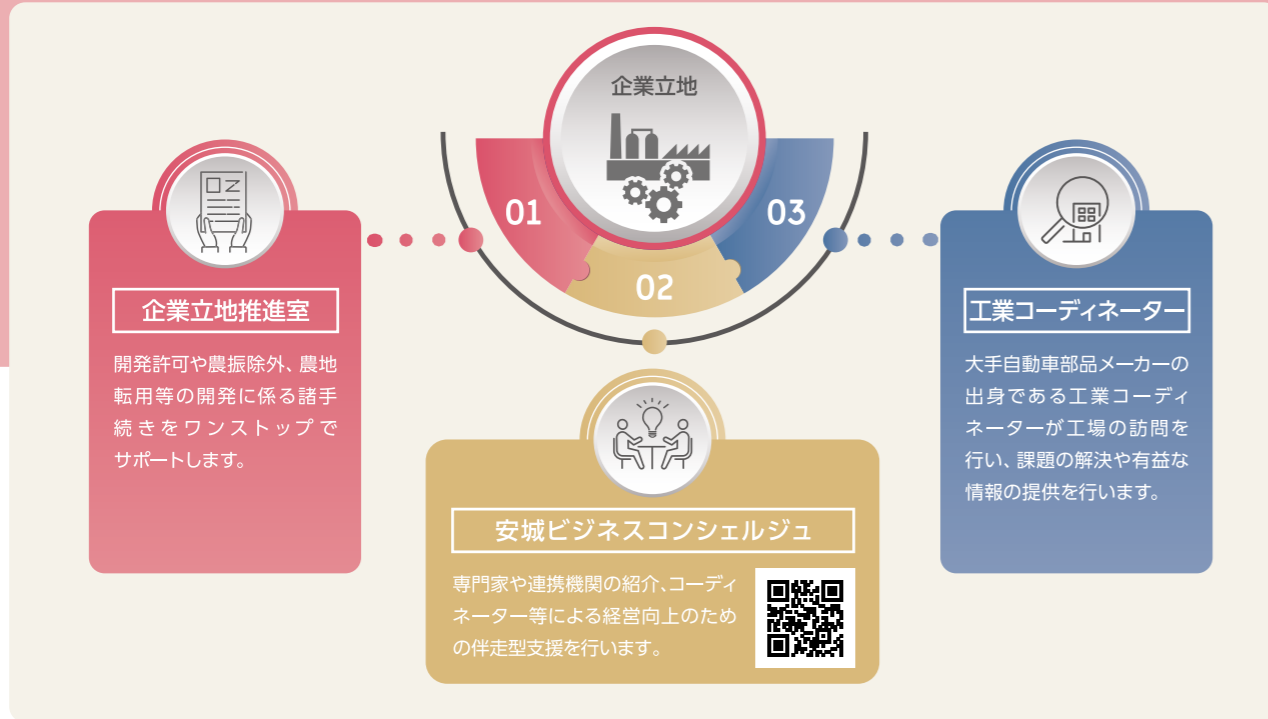


榎前工場

企業立地等に対する補助金・支援制度

1 企業立地からその後までサポート

安城市企業立地推進室と、安城ビジネスコンシェルジュ・工業コーディネーターが企業立地からその後までサポートします。



2 企業立地に対する補助制度 (2026年4月現在) 安城市に立地する際には様々な補助制度が受けられます

※各補助金は併用できる場合があります。詳細はお問い合わせください。

◎企業立地促進事業補助金 最大5億円

市内投資の支援 (市単独)	
補助対象	製造業に係る工場・研究所を新增設する企業 ・工業系のエリアに新規に土地を取得等する場合に限る
対象分野	業種全般(火薬類や危険物等を取り扱うものを除く。)
補助率	・土地を除く固定資産取得費用の 10% 以内 (大企業8%以内) ・取得した土地に係る固定資産税・都市計画税相当額 (5年間分)
限度額	5億円

◎愛知県21世紀高度先端産業立地補助金 最大100億円

県と連携した高度先端分野における大規模投資等の支援	
補助対象	製造業・ソフトウェア業に係る工場・研究所を新增設等する企業
対象分野	高度先端分野 航空宇宙、環境・新エネルギー、健康長寿、情報通信、先端素材、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーに関する分野
補助率	土地を除く固定資産取得費用の 10% 以内 (大企業8%以内) (研究所の場合は 20% 以内)
限度額	100億円 (投資額300億円以下は 10億円)

◎新あいち創造産業立地補助金

最大10億円

	Aタイプ	Bタイプ
	県と連携した市内再投資等の支援	産業競争力強化に資する製品・部素材分野への支援 (県単独)
補助対象	製造業・ソフトウェア業に係る工場、研究所を新增設等する企業 ・愛知県内に20年以上立地し、かつ概ね市内に10年以上立地する場合に限る	製造業・ソフトウェア業に係る工場、研究所を新增設等する企業
対象分野	次世代成長分野 次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、健康長寿、情報通信、ロボットに関する分野 愛知県における集積業種 輸送機械、電気・電子機器、機械・金属、健康長寿、農工商連携、食料・飲料品、住宅・建築物・同設備に関する分野	次世代成長分野 次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、健康長寿、情報通信、ロボットに関する分野 産業競争力強化に資する製品分野 新たなマーケットの創出、技術力の向上、高い成長性が見込まれる製品
補助率	土地を除く固定資産取得費用の 10% 以内 (大企業8%以内)	土地を除く固定資産取得費用の 10% 以内 (大企業8%以内)
限度額	10億円	10億円

3 中小企業支援制度 (2026年4月現在) 安城市は中小企業への支援制度も充実しています

◎がんばる中小企業応援事業補助金

中小企業者が行う人材育成、展示会出展、新規事業展開等に係る経費の一部を補助します。

	補助率	限度額
① 人材育成事業	2分の1以内	年間15万円
② 人材確保事業		年間20万円
③ 展示会出展事業		年間20万円
④ 特許申請等事業		年間20万円
⑤ 依頼試験事業		年間10万円
⑥ 販売促進事業		年間20万円
⑦ 現場改善等相談事業		年間40万円
⑧ BCP策定事業		年間40万円
⑨ 新ビジネス支援事業		3分の2以内

◎ものづくり企業研究開発推進事業補助金

対象分野	市内に本社を有する建設業、製造業、ソフトウェア業
補助要件	・製造業、建設業またはソフトウェア業に係る事業 ・新製品または新技術等の開発や既存製品の付加価値化を目的とした事業 ・補助対象経費総額が20万円以上の事業 ・申請年度の2月末日までに終了する事業 ・市長が事業計画について採択を受けた事業
補助対象経費	・原材料費及び副資材費 ・工具、器具その他の備品購入費 ・機械及び装置のリースに要する費用 ・外注加工費及び外部委託費
補助率・限度額	補助対象経費の1/2以内 環境負荷の低減が見込まれる事業については補助対象経費の2/3以内 限度額： 単独開発事業の場合200万円/年度 共同開発事業の場合300万円/年度



その他の支援制度

安城市都市緑化推進事業補助金制度

屋上、壁面、空地、駐車場の緑化工事費のうち植栽、植栽基盤、灌水施設、園路整備及び事業表示看板設置に係る工事費

安城市雨水貯留浸透施設設置補助事業

雨水貯留施設(雨水タンク)および雨水浸透施設(浸透マス・浸透管・浸透側溝・透水性舗装)の設置に係る工事費

地域未来投資促進法*による支援制度

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、経済的波及効果を及ぼす地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を実施する場合県の承認及び国の確認を受けることで、設備投資の課税特例措置などを活用できます
※地域未来投資促進法
(地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律)

安城市 産業部 商工課
企業立地推進室 企業立地推進係
〒446-8501
愛知県安城市桜町18番23号
TEL 0566-71-2281
E-mail kigyouritti@city.anjo.lg.jp



安城市ホームページ「望遠郷」
<https://www.city.anjo.aichi.jp/>